

第十六回 參議院人事委員會會議錄

昭和二十八年七月三十一日(金曜日)午
前十一時十八分開会

る法律の一部を改正する法律案を議題に供します。

委員長 村尾 重雄君
理事 富田 重文君

○衆議院議員(赤城宗徳君) 委員長に
　　法律の一部を改正する法律案について資料の御説明を願いたいと思います。

千葉 信君
松岡 平市君
委員

○委員長(村尾重雄君) 今日お出で願
うるに付て、説明がござ
るが、その間の問題を
あらわす

吉野 信次君
溝口 三郎君
岡 三郎君

○衆議院議員(赤城宗徳君) 順序がどういうふうになつておりますか、出しましたら頂きたいと思います。

衆議院議員
赤城宗徳君
後藤文夫君

ました資本のニセで順序が不同ながるかも知れませんが、第一は一般職給与法改正施行に伴う所要予算額調という

政府委員
大藏省主計局給与課長 岸本晋君

等学校を含めてであります、月額において一千九百五十七万八千円、三カ月で五千八百七十三万四千円、年間は

日本國有鐵道職員局給与課長 八木利真君

次に書いてある通りであります、公立学校につきましては月額が四千五百八十一万六千円、三カ月で一億三千七百

般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律案(衆議院提出)は、家公務員等に対する退職手当の臨

百七十九万二千円、公立大学は月額が三百七十一万三千円、三ヶ月で一千百十三万九千円、年間で四千四

○連合委員会開会の件
　　法律案(内閣送付)

百五十五万六千円、その最後の三ヵ月間に要する金額が國立にいたしまして五千八百七十三万四千円、公立にいた

○委員長(村尾重雄君) 只今より人事委員会を開会いたします。

しまして一億四千八百五十八万七千円、その内訳の計算の基礎は、その次

一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律案及び国家公務員等に対する退職手当の臨時措置に関する法律

らん願えればおわかり頂けるかと思ひます。

次に教員数というのがあります。区
分を小学校、中学校、高等学校、盲学
校、聾学校、養護学校、幼稚園こうい
うふうに区分しておきました。総計た
けで、あとは省略さして頂きたいと思
いますが、小学校の教員数が三十二万
七十七名、盲学校が一千五百八十八
名、聾学校が二千四百九十名、養護學
校四名、幼稚園が五千九十二名、総計
して五十九万五千四百九十一名、それ
を男女別、校長、教諭、助教諭、講師
別等にしておりますので、御了承願い
たいと存じます。

の間に点が入つておるのが小学校であります。一番上になつておるのが小学校であります。縱に上に上のほど通し校であります。縱に上に上るほど通し号俸が上つております。横では年齢で調べしております。その基礎は細かい表で出ておりますのが、この表が基礎になつてグラフができております。これでちよつと御説明いたしますと、丁度通し号俸で言いまして、左のほうの二十八号、金額にいたしまして、通し号俸ですから、九千二百五十円の欄、年齢で言いまして二十六才、この頃から高等学校の教員の給与が比較的の低くなつております。左のほうで二十八号、下の欄で二十六才、金にいたしますと丁度九千二百五十円の給与月額になつております。それからずつと低くなつております。それからずつと低くなつて来ていまして、四十一号俸、年齢にいたしまして三十八才、金額にいたしまして一万四千六百円のところまでずつと下つて来まして、号俸の四十一号、四十二号のところでもちよつと上つております。それから四十八号までが又低くなりまして、四十八号から少し上りまして、結局五十四号までのところあたりで、即ち金額にいたしまして月額給与二万五千円といふあたりまでが高等学校の教員の給与が低くなつておる表でござります。それを実例を以て示せ、こういうよな御要求でありますので、「二千九百円ベース切換後的小、中、高等教員の臨没状況」という表があります。第一は師範学校を卒業した場合の例をとつております。

を卒業する年齢が十八才、中学を卒業したまして、師範学校卒業しまして、教職に就いた、そして三十六才の場合をとつております。教員の経験年数が十六年、こういうことがあります。そこで、昭和二十二年の十二月三十日現任の俸給額は八百五十円であったであります。このときいわゆる二九ベースの切替がありまして、切替によつてどういうふうに処置されたかということになります。そのういうことになるわけであります。その後に、次にグレードS三とありますのは、専門学校三年の略称であります。師範学校卒業は専門学校三年を終了したということに見られましたので、S三といふふうに略してあるのであります。それでこの十六年の動態教員の経験年数でありますので、それを級別推定表に当てはめまして、十六年の者はどこに該当するかということですが、丁度九級六号に該当しまして、二十三年十一月の切替が八百五十円から三千九百円に切替えられたのであります。次に同じような方法で専門学校卒業の場合を取りました。第二は、中学を十八で卒業しまして、専門学校を三年、二十一のときに教職に就きました、三十六才の場合と同じくりますと、丁度教員の勤続年数が十五年であります。十五年でありますので、これを級別推定表に該当させまして、これが八級十号で頭打ちであります、三千九百円と

す。それから専門学校卒業で、第三の場合。この表で三の場合、これは十八才で中学校を卒業して、専門学校を三年がかつて卒業して、教員を八年勤めで、その間軍歴が五年あつた、軍歴を経て又教員に戻つて来まして、二年間教職に就いておつた、そうして三十六才になつたという場合であります。この場合におきましては、軍歴といふものを全然加算いたしませんので、教職年数八年と二年、即ち十年が勤続年数ということになつて、それを基礎として切替えられ、給別推定表に該当させまして、これが七級十号、当時の俸給が九百五十円であつたのであります。が、これが三千四百円というふうに切替えられたわけであります。

その次には、中学校を卒業して、一年浪人しておつて、その後に専門学校に入つて三年を経過して二十二のときには学校を出て教員を三年しておつた。民間経歴として実業方面に九年おりまして、そうして戻つて来まして、教員になつて、二年を経過したときに三十六才になつた。この場合に、民間経歴は五割に計算されましたので、実業界においてました九年の半分、四年六ヶ月という計算でありますので、教員が五年、民間経歴の加算が四年六ヶ月で、九年六ヶ月、こういう換算で勤続年数を見まして、級別推定表に當てはめた場合に、七級十号、頭打ちで三千四百円というように切替えられたわけであります。

を卒業して、民間経歴といいますか、実業界方面に七年おつて、軍隊に三年おつて、そして教員として二年勤めて三十六才になつたという場合の例であります。この場合に民間の経歴年数をやはり五割と見ておりますので、二年六ヶ月と、教員おりました二年、これを加えまして五年六ヶ月が勤続年数でありますので、これを基礎として級別推定表に当てはめました場合に、七級十号となつて、九百円の俸給でちつたのが三千四百円に切替えられただけであります。

その次の場合は、中学を出て一年浪人して、そうして旧制高等学校及び制大学を出て、そして教職に就いて、その後、実業方面 民間経歴を四年持つて、なお又戻つて教員を二年勤めた、こういう場合の例をとりまして、丁度九年という勤続年数になつておりますして、九百円の切替えが八級六号で三千八百円、こういうことになつております。

それから七の場合、この数字が五となつておりますのは七であります。最終の場合には、順調に中学を出、旧制高等学校を出、旧制大学を出て教員を十二年勤めている。この場合はそのまま十二年を勤続年数と見られますので、一千五十円が四千三百円に切替えられたのであります。こういうふうに切替えられたのであります。

その後二十六年一月一日に級別推定格付などが變りまして、民間経験年数等の緩和が少しありましたので、少し緩和されたと言いますか、少し有利になりましたのであります。

日の状況を見まするといふと、師範学校を卒業の人が十級三号で、第一の場合は一万四千五百円、四十六号であります。第二の場合は九級八号で、四五号で一万四千円、第三の場合は九四号の四十一号で一万二千二百円、四四号の場合は九級四号の「一万二千一百円、第五は九級二号の「一万一千四百円、第六の場合は九級七号「一万三千五百円、七の場合は十級五号で「一万五百円、こうじう現状になつてゐるけであります。

どういうことで今そういう俗に言ふ陥没といふものを来たしてゐるかとおことであります、師範学校はそのまま後短期大学になりますて、これは専門学校卒業と同じよう取扱われることになりますて、その点は非常に結構なことですが、従来の旧制大学といふものと比較しまして、学校にいわゆる期間などから比較しますといふと、この点で大学或いは旧制専門学校等を出した人が少し不利な状況になつてゐるわけであります。それからもう一つは、師範学校を卒業するということになりますといふと、早く教職に就きますので、教員の勤続年数を強く見ておりまする關係上、早く学校を出て早く教職に就きましたので、そういう人は有利になつてゐるが、高等学校等におきましては、現在の状況から見ましても民間経験者が非常に多いのであります。民間の経験年数ということの見方をするので、教職員としての経験年数は少しひ薄いのではないか、こういうふうな関係、教職員の勤続年数は、どうしても学校を出る時期が遅れたりしますので、教職員としての経験年数は少しい。逆に民間の経験年数は多い。で、

い。こういうような関係がありますて、先ほど申上げました学校種別による年齢別の給与実態グラフに現われおりますように、大体二十八号俸から五十四号俸のあたりまで中小学学校等比較しまして給与が不利な状態になっているようになっておるのであります。殊に高等学校は、旧高等学校専門以の卒業者が約九三%を占めております。中学校におきましては一七%、一学校においては一%というようなこでありますので、旧高等専門学校以の人気が出ておりまする高等学校の教は、比較的不利な状況にある。こううようなことに相なるかと思うので、さります。

それから資料の御要求がありまし中で「地方公立学校教職員の学校別年別人員数及び学校別給与水準」ことは自治庁、文部省のほうへも照会しまして調査したのであります。文部省のほうでは地方の公立学校教職員に対する級別の人員数の調査がない。先ほど申上げましたように国立のほうは御提出したのであります。公立学校のほうの級別人員数は文部省のほうで今調べてありませんので、それからど申上げましたのように人間の数は、やはりこの級別についてます。やはりこの級別に人間数はちよつと調査がない。それで今調べてあります。人間数は、人間の数は先ほど申上げました通りあります。表の中にはありますように人の数は調査ができたのであります。が、地方公立学校の御要求の資料は、残念ですが、ちよつと今間に合わねるような状況であります。

〔速記中止〕

○委員長(村尾重雄君) 速記始めてお話をうながす。只今の発議者赤城宗徳君の御説明について御質疑のある方は御発言願いです。

○千葉信君 今懇談の際に溝口委員から言われたように、かなり資料がばらばらであります。衆議院、参議院のおののほうから出した資料の間にかな食い違いがあるばかりでなく、提案のほうから頂いた資料自体でも、いろいろ不統一なところがあるので、これはやはり只今の懇談のお話合いのように、もう少し検討してからでなければ、いろ／＼納得できるような御答を頂けないと思うのですが、ただ一だけお尋ねしておきたいことは、この資料の中にある学校種別による年齢平均給与実態グラフ、これはかなり題の検討に重要な役割を果す資料だと思うのです。お尋ねしたいことは、体これははどこで調査された資料ですかということ、それからこれを採用すると、二十七年度現在という恰好なつておりますが、御存じのように、しく二十七年度と言いましても絶え変動している問題ですから、その点については何時現在で調査した統一ある資料であるか。それからもう一つは道二十三県ということになりますと、これは少くとも悉皆調査として正確一体仮に一道二十三県の調査であるとしても、今度はこの一道二十三県における抽出の調査であるのか、悉皆調査であるのか、若し抽出調査であるならば一体どういう基準で調べたのか。その点はつきりして頂きたい。

〔速記中止〕

○委員長(村尾重雄君) 速記始めて
只今の発議者赤城宗徳君の御説明に
いて御質疑のある方は御発言願い

卷之三

二、新編の翻譯の際は、筆者より委嘱
ら言わされたように、かなり資料がば

ばらであります。衆議院、参議院のお

食い違いがあるばかりでなく、提案のほうも、資料自体で

いろ不統一なところがあるので、こ

はやはり只今の懇談のお詫合いのよ

は、いろいろ納得できるような御答

を頂けないと感じるので、かたかただけお尋ねしておきたいことは、こ

資料の中にある学校種別による年齢平均給与実態グラフ、これはかなり

題の検討に重要な役割を果す資料だと思うのです。お尋ね一二ことは、

思ひのとおり尋ねしところ
体これはどこで調査された資料であ

かということ、それからこれを拝見ますと、一十七年度現在という恰好

なつておりますが、御存じのように

じく二十七年前と云いまして、それが絶え変動している問題ですから、その点

ついては何時現在で調査した統一ある資料であるか。それからもう一つは

道二十三県ということになりますと、

これは少くとも悉皆調査として正確な資料ということにはならない。これに

一体仮に一道二十三県の調査であるとしても、今度はこの一道二十三県に

くる抽出の調査であるのか、悉皆調査

あるのか、若し抽出調査であるとすれば、一体どういう基準で調べたのか。

その点はつきりして頑きたい。

○委員長(村尾重雄君) ちよつと速記

記その点はつきりして頂きたい。

○衆議院議員(赤城宗徳君) 議員提出の法律案でありまして、資料と言いましても各官庁を動かして資料を集めるということが非常に困難な事情にありましたので、私どもに届いておりました各方面からの資料がありましたので、その中から、私どもがこの資料ならばいいじゃないかと、そういうように思いましたして、実はその中から取り出して御提出したわけあります。

それから、この調査はお説の通り悉皆の調査でなくして摘出調査でありますからして、今お話のように、果してこの通りになつているかどうかというようなことについては、或る程度まだ検討する必要があると存じます。併しこれ私どももいたしまして、相當こういう資料はあちらこちらの中から見まして、まあ大体これが現状に近いのではないか、こういうように見たものですから、御提出いたした次第でござります。

○千葉信君 そういたしますと、只今御答弁から言えれば、提案者としては大体これは希望的には信頼すべき資料だと思うということが一つと、それから実際上は各官庁にいろいろ連絡をして集めた資料であるけれども、併しこれは連絡の関係その他の期間の関係等のために、提案者としては必ずしも全面的にこの資料に対しては責任を持つてこの通りだということは言えないといふ御答弁だと了解して差支ないのですね。

○衆議院議員(赤城宗徳君) 全責任を持つて、確かな統計だ、こういうよくなことは、今お話のように、金責任を持てるというわけには行かない、こう考えております。但し、私ども

ましては大体において信頼し得る資料だ、こういうめどでお出したした次第であります。

いどいうのが、この前の義務教育職員を国家公務員にする法案ですか、あれが出ておるときにもそういうものはなないというお話をしたが、陥没状況で、高等学校の教職員給与が非常に少いような状態にあるというお話を伺つたのですが、只今審議することはあります。これは国家公務員のものでありまして、国家公務員の平均本俸額は先ほどお配り頂いたのであります。そのうちの高等学校の教諭は平均本俸が一万

ので、この国立学校とのベースの開拓が非常に多いものだから、その間の事情がはつきりどういうふうになるのか、これを比較したいと思つてこの資料を要求いたしたのです。この程度の資料は文部省か自治庁にはあると思います。改めてそれをして頂きたいと思います。職級別は、なればなくて止むを得ないとおりです。

に、十二分に沿い得ないかも知れませんが、全般的にちよと調べるということは、非常に私どもいたしました。政府機関を持つてゐるわけでありせんので、非常に困難であります。先ほど申しましたように、文部省に自治庁にも細かい調査というものがのところないという状態であります。如何いたしたものであります。しかし、その高いというような状況の調査がありまするならば、まとめて

出査うの今も、まてうせ

ましては大体において信頼し得る資料
だ、こういふめどでお出しいたした次
第であります。

○千葉信君 まあ全責任という言葉が
少し意味が強過ぎるとすれば、少くと
も大体が信頼できると思うけれども、
併し今後の審議の過程の中で必ずしも
この通りだということはおつしやれな
いであろうということが、もう今の御
答弁で予想されると思うのですが、そ
う了解しておいて差支ございません
か。

○衆議院議員(赤城宗徳君) 審議の途
上において、これは違うのだ、このほ
うが正しいのだ、こういうような統計
或いは御資料によりまして、それが正
しいと見れば、私どもそれを認める
ことに答かではないのです。

○千葉信君 そうしますと、これは審
議の過程の中で、若しも提案者のほう
からお出しになつた資料が間違つてお
れば、自分のほうとしてはこれは大体
そうあつても止むを得ないというよう
な状態なので、そういうようなことに
なりますと、我々としては問題を正確
に審議するためには、やはり我々自身
の手でもう一度この資料が正確なもの
であるかどうかという調査なり研究を
しなければならないという前提に立つ
て、この資料を私ども一応この際は頂
戴して置く、ということにしておいて、
今日はこれで質問を打ちります。

○満口三郎君 先ほど赤城さんからお
話がありました、国立学校の教職員の給
与と地方の教職員の給与、それを比較
したいと思いますので、文部省が自治
院に資料があつたら出して頂きたいと
いうことを、この前も要求いたしまし
たが、職級別には文部省では出でていな
いというのが、この前の義務教育職員
を国家公務員にする法案ですか、あれ
が出ておるときにもそういうものはな
い、というお話をしたが、臨済状況で、
高等学校の教職員給与が非常に少いよ
うな状態にあるというお話を伺つた
のであります、只今審議することは
これは国家公務員のものであります
て、國家公務員の平均本俸額は先ほど
お配り頂いたのであります、そのうちの
高等学校の教諭は平均本俸が一万
六千九十四円になる、中学校的教諭は一
万二千八百六十円、小学校的教諭は一
万二千四百七十円ということになつてお
りますから、この国立学校の高等学
校、中学校、小学校のほうが非常に多
くなつておる。で、臨済状況といふ
のがこの上では見られないような工合
になつておる。問題は、高等学校は国
立学校では七百十七人に該当しておる
階級では、高等学校のほうが非常に多
くなつておる。で、臨済状況といふ
ものがこの上では見られないような工合
の地方の高等学校の教職員が、先ほど銀
談のときに私から申上げましたが、い
ろいろな資料が出ておるので、幾人だ
ものと思いますが、これと関連して、
かはつきりいたさない。これは整理し
て頂こうと思つておりますが、地方の
公立学校の先生の給与、これは国立学
校に比べて大差があるのじやないか
と思います。私は義務教育職員の国庫
負担法案のときに伺つた資料があつた
のですが、それが余りはつきりいたさ
ないので、改めて正式に資料を出して
頂きたいということを考えていたの
です。地方の教職員の分は、小学校の
先生が二十八年の四月一日に一万五千
六十九円ベースになる、中学校は一万
六千六十一円のベースになる、事務職
員は一万三千九百九十一円になるといふ

が非常に多いものだから、その間の事情がはつきりどういうふうになるのか、これを比較したいと思つてこの資料を要求いたしました。こゝで程度の資料は文部省が自治庁にはあると思います。改めてそれを出して頂きたいたいと思います。職級別は、なればなく止むを得ないと思つております。

それからもう一つ、ついで伺つておきたいのですが、陥没状況の表を牛ほどのところへお話をありました。これはどこで調べて来られたのか。これは地方の職員なのか、国立学校の職員の例なのか、それをお伺いいたしたいと思います。

○衆議院議員(赤城宗徳君) 今お配りした表で、非常に国家公務員としての教職員の俸給が高いのじやないか、こういう仰せでありますたが、これは国家のほうは級別に調べてあります。高等学校のほうにおきましても、教諭等、級の高いほうの人数が非常に多くありますので、平均いたしますと、そういうことになるかと思います。

それから第二に地方の教育公務員の給料についてどう思うかということでもあります。これが私どもいたしましても、平衡交付金の算定基準にいへども問題になつておりますように、昨年度は地方のほうが三百七十四でありますと一千百円が地方の教職員の平均俸給額が高い。こういうようなことは自治庁でもよく言われております。そういうことが、調査すればこれはよろとあります。今の資料のお申出の点

事の貴は元請の事に就いて、その調査結果によれば、十一分に沿い得ないかも知れませんが、全般的にちよつと調べるということは、非常に私どももいたしまして、も政府機関を持つてゐるわけでありませんので、非常に困難であります。先ほど申しましたように、文部省に自治庁にも細かい調査というものがのところないという状態であります。如何いたしたものでありますよか、その高いというような状況の資料がありまするならば、まとめてみたいと思います。

それから第三の陥没状況の調べは、でやつたかということでありましたが、先ほど千葉さんも御答弁いたしましたように、我々もいたしまして、全国に亘つて全部調べ上げるといううなことは非常に困難を来たしてありますので、私どもの手許に相当集つておつた資料などがありまして、その中からこの委員会において議を願う便宜に適當だ、こういうふに思いましたので出したのでありますので、御了承願います。

○溝口三郎君 私のさつき申上げたは、ここに出ております国立の高等学校、中学校、小学校の先生方と同じく、うな階級の地方の教員のベースを比較したい。高いとか安いとかじやなくて、そういう資料があつたら欲しい。高い安い比較の面で出して頂きたい。高い安いあとで判断すればいいので……。

それからもう一つ今お話をされましたのが陥没状況をお出しになつたので、が、これはもうすでに陳情書で私ども頂いているのです。全日本高等学校職員組合というので、パンフレットにつながつたのを頂いて、それに一つか二つ附加えてお出しになつた。教職員組合

組つに教もすた い。く較よ字の すう審のまおよ、しすど 出査うの今も、まてうせ

合の方々のお出しになつた陳情書はまことに一番悪い状態と一番悪い状態を何十万の中から三點ばかり出したのです。殊に一番悪い状態を特に意識的に書こうといふようになるときには、正確な、誰が見ても納得の行くような資料でないと、判断にちよつと苦しむようなことがあるのです。例えば今お出しになりました資料の中の下から三行目にあります、それが陳情書に出ている。そして、それは非常に不利な条件がある。初仕給が九百円、何年か経つて一万一千四百円にしかなつていない。一方、小学校の先生で教員を十六年続けてやつたかたは一万四千五百円というふうになつる。それは一番上の欄に書いてある。おわかりになりましたか……。その九百円は、中身を見ますと九大を卒業のかたなんですが、中学校を卒業して一年浪人をしていて、高等学校三年やつて、大学を三年やつて、会社を七年やつて、軍隊を三年やつて、教員を二年やつた、こういうような例で、長い間やつたのだけれども一万一千四百円にしかなつていいないので、非常に不利だから、これを平均のところまで上げてもらいたい。十六年間くらいのうちで浪人のところまで例に書くというよくなことは、私は普通の例にはならないのじやないか。そういうようなものが今までから、こういうのはお取消しに今の資料を見たら書いてある。中身はそういうことなんです。そんなのは資料としてお出しになつては迷うだけなのです。ですから、こういうのはお取消しに

なつたらどうかと私は思うのでござります。
それからもう一つお伺いしたいのです
すが、一般職給与法改正案施行に伴う
所要予算額調(明細)、というのがあります
のですが、これはどこでおきになつた
た明細なのかということを伺います
が、衆議院の予算委員会で七月二十九日
にたこの問題が出たようござります
が、これは改進党の修正案と、それから
ら最後にきまつた修正案との説明が喰
い違つてゐるのだ、これは政府で統一
してもう一遍出されたらどうかといふ
のがあつたのぢやないかと思うのです
が、その統一した修正案というのがな
ういうものなのかな。それをお伺いいた
したいと思います。

ういう費用を含めて三億六千万円とし、うような額を決定したというふうに申しますが、三号上げるというようなことはござつて、この法律案によりますれば、高等学校において四級から九級まで、十級までにおきまして四級から十級まで俸だけを上げるというようなことになりましたので、内訳等につきましては算定の基礎が少し变了のじやないかと思ひますが、その三億六千万円のうちで今申上げました金が三本建ての法律改正により給与改訂のために必要な費用、こういうふうに承知しておるのでございます。なお平衡交付金のこととでありまするが、五十億円の枠がなまりますので、陥没とかその他の状況併せて五十億円の枠内において適当に勘案する、こういうようなことになつて、いろいろ承知しております。

めたのは、この法律の出る前じやないか、こういう仰せでありますけれども、この法律を出したのは七月二十日提出でありますけれども、すでに計算の修正をする前から三派で協議をしておりまして、三本建の法律を作りますけれども、議員提出で作るということになつてございましたので、三本建に要する費用、三本建に改訂するときの切替に要する費用、こういうようなことになつてありますので、あの三億六千万円の中取りはこの額は当然含んでおるのであります。又、改進党のほうで、これは陥没のためのみだというようなことを言ふて救われ、三本建によつて、その結果として救われるものを含めての話し合いは、陥没という意味を法律にとまりでも、この法律によつて三本建ができる、これに必要な費用及びこの体系とは別個になりますので、そのほかに必要なあるもの、両方を含めたたゞうに協定してあるはずでございます。この表は大蔵省のほうで予算要求をした表かということではありますが、この表に少しの違ひはあるかと思ひますのが、こういう基準によつて、予算を修正する際に、三派の只今の話し合いの基礎になつてゐるわけであります。数字の点におきましては、少しく違つておる点があるかと思ひますが、基礎になつておるはずだと思います。

○衆議院議員赤城宗徳君 これはうもむずかしいお尋ねであつて、私もどうも大蔵当局でないので、はつきりした御返事はできませんけれども、今まで御返事はできませんでしたが、今この給与準則の中にも、附則の第8号にあると思いますが、あれが通ると、うふうな内容が含まれている。給与準則の附則の第8号かにもあるのであります。そういうようなことも考えられておりますが、この法律が通らない、いうことになりますれば、この三本大切替に要する費用といふものは、全額不要になるわけでありまするが、然ばその三億六千万円は、陥没状態を救うために、全部平衡交付金として使つかないのか、使わないのかということになりますれば、やはりこれは自治庁といふ細則等の改正も必要でありまして、或いはそれと別で、給与準則が付され、五十億円の枠内におきまして、どの程度のことになりますか……。人事院の細則等の改正も必要でありますよ」と述べた。

卷之三十一

田中さんが、今回の三億六千万円は、その不合理は正に使用するのだと、こういうふうに明確に言つたあとで、今度は塙田自治庁長官なり、或いは小澤自由党議員の答えと食い違つて、次のように「三億六千万」という数字が出たときは、先ほど田中議員が仰せになつたようないきさつで出たもののようにあります。が、その後、ものの考え方が変り、今の考え方といたしましては、前述の通り金額も変り、内容も變つた」と明言しておられる。その金額というのは、計算によつて一号俸上げる金であつて、一億四千八百五十八万七千円である、こういうふうに明確に一応言つておるわけです。こういつた点について、提案者のほうとしてはどういうふうにお考えになつておるか。

○衆議院議員(赤城宗徳君) 速記録を詳しく述んでおりませんが、田中久雄君が答弁されました不合理是正ということの中には、私は法律によつて三本建にするということも、まあ含めて、田中君は言われたのじやないか、こう私は解釈しております。又塙田自治庁長官が言われましたのは、その点がはつきりして来て、法律が出て、一号俸上げるということになつたから、その点をはつきりさせて、そのほかになお不合理の点があれば、それに充當することであると思うのです。小澤君の答弁は、若し田中君が三本建といふよう法律のことをも仮に含まないで言つておるということであるならば、それは三党協定の線と違つておるのではないかと、こういう意味で、小澤君のほうでは是正したのじやないか。私はそう

いうふうな解釈をいたしておきます。

○岡三郎君 その点まだ一杯問題があ

りますが、今日はやめておきます。

午後十時二十九分散会

七月三十日本委員会に左の事件を付託された。

一、一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律案(衆)(予備審査のための付託は七月二十四日)

午後十時二十九分散会

七月三十日本委員会に左の事件を付託された。

一、一般職の職員の給与に関する法

律案(衆)(予備審査のための付託は七月二十四日)

午後十時二十九分散会

それでは本日はこれにて散会いたし

ます。

午後十時二十九分散会

七月三十日本委員会に左の事件を付託された。

一、一般職の職員の給与に関する法

律案(衆)(予備審査のための付託は七月二十四日)

午後十時二十九分散会

昭和二十八年九月三日印刷

昭和二十八年九月四日發行

參議院事務局

印刷者 大藏省印刷局